

2021年3月15日

在学生の皆さんへ

東京都市大学  
副学長（総括・教育担当）  
大上 浩

## 令和3年度 第1クォーター授業の受講における感染予防のための注意事項

令和3年度 第1クォーターの授業は、「令和3年度 第1クォーターの授業開講方針」に則り、ハイブリッド型授業を実施することになりました。さらに今後、各キャンパスにおいて、皆さんに対面型あるいはオンライン型のいずれの受講形態を選択するかアンケート調査を実施します。4月に履修申告する科目については、その受講形態によって受講することになります。この注意事項では、特に「大学に登学して受講する学生」を想定してまとめたものですが、いずれの受講形態を選択した学生にも該当する内容がありますので、よく読んでください。

よろしくをお願いします。

### 1. 登学する前に

- 登学前に接触確認アプリ(厚生労働省 新型コロナウイルス接触確認アプリ (COCOA))登録を済ませてください。
- 登学前に必ず体温計測して記録する(学生は都市大アプリを使用する)こととし、発熱、軽度であっても咳・咽頭痛等の症状がある学生は、登学(不要不急の外出)を控え、症状が完治するまで自宅待機し療養してください。なお、登学前に体温計測を忘れた学生、計測してきたが登学時に発熱を感じる学生は、各キャンパスの入構確認場所で検温を受けることとします。(37.5℃以上ある場合には入構できません。)

#### 【入構確認場所】

世田谷キャンパス 1号館1階警備室前  
横浜キャンパス 1号館1階警備室前  
等々力キャンパス 3号館地下警備室前、1号館前警備ボックス前

### 2. 登学に係るガイドラインについて

- 学生部長による「登学に係るガイドライン」アップデート版が近日中に公開されます。これには、昨年同様に新型コロナウイルス感染予防に関して「登学時」、「学内滞在時」、「登学以外」等の項目別に守るべき事項を示しています。在学生の皆さんはこの内容を遵守しなければなりません。公開後は速やかによく読んでください。

### 3. 入構及び教室等の使用にあたり

#### 【1】マスクの着用の徹底

- 常時マスクを着用してください。未着用者の入構を許可しないことがありますので、注意してください。(熱中症等の健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合には、各自の判断でマスクを外しても構いません。)
- マスクを収納するビニール袋等を各自が持参してください。飲食等の際にマスクを一時的に外す際にはこれに収納し、テーブル等に直接置かないでください。
- 飲食等の際には、必要な時だけ一時的にマスクを外し、それ以外はマスクを着用してください。

## 【2】手指消毒、咳エチケットの徹底

- 石けん等でこまめに手洗いしてください。（特に実験・実習等で器具等を共有して使用する場合には、事前・事後の手洗いを励行してください。）
- 手洗いによる消毒が難しい場合、各所に設置のアルコール消毒液で手指消毒してください。
- 「咳エチケット」を徹底してください。

※「咳エチケット」とは、咳やくしゃみをするときにマスクやティッシュ、ハンカチ、洋服の袖等で口と鼻を覆い、人にウイルス等を含む飛沫が飛ばないようにすることです。

## 【3】フェイスシールドの携行

- 学生の皆さん全員に対してフェイスシールドを1枚ずつ支給しています。昨年より支給が開始されています。支給方法は、キャンパスによって異なりますが、未受領の学生は必ず受け取ってください。新生には、入学式の際に配布される各種資料と一緒に支給します。
- 授業・実験等で、近接しての対話や作業等が行われる場合には、フェイスシールドの着用を指示することがあります。支給されるフェイスシールドは、A4判サイズでマスクに接合させて使用するタイプなので、カバン等に入れて、日常的に携行するようにしてください。

## 4. 授業の受講にあたり

### 【1】パソコンの持参について（必ず持参すること）

- 登学して授業を受講する学生の皆さんは、授業に必要な教科書等のほか、各自のパソコン、ヘッドセット等を必ず持参のうえ、受講してください。（大学では貸出しません）  
※ ハイブリッド型授業では、対面型とオンライン型で受講する学生が混在し、授業中にオンライン上で受講形態の異なる学生同士が、ディスカッション等を行うこともあるため、各自のパソコンが必要です。
- パソコンの持参にあたっては、充電を十分に行って持参してください。  
※ 座席ごとに電源コンセントが設置されている教室とそうでない教室があります。後者の教室には、教室壁面のコンセントにケーブルタップを複数本設置し、給電できるようにしておりますが、すべての学生に対応出来るものではありませんので、パソコンの内蔵バッテリー切れを防止するためにも、充電を十分に行って持参することが必要です。

### 【2】希望した受講形態を必ず守ること

- 各自が希望した受講形態（対面型、オンライン型）で受講してください。また、実験・実習科目のみを対面型で受講し、それ以外をオンライン型で受講する学生、特例扱いの科目で開講形態が限定されている（対面型のみ、オンライン型のみ）科目を履修するために、学内においてオンラインで受講する必要がある学生には、教室を別途開設しますので、そこで受講するようにしてください。そのほか、キャンパス単位（学部学科）で個別に設定されている受講に関する注意等に従って受講してください。

### 【3】教室・実験室

- 教室や実験室では、出入口の扉や窓を常時開けおくなど、換気の徹底にご協力ください。
- 着席の際には、後方などの一か所に固まらず、ソーシャルディスタンスに配慮して、間隔をあけて着席してください。
- 教室・実験室等に入る前には、石鹸で十分な手洗いまたは、アルコール消毒液により、必ず

手指消毒をしてください。また、実験室等で共有の器具等を利用する場合には、その前後でも石鹸で十分な手洗い、または、アルコール消毒液で必ず手指消毒をしてください。

- 教室内の収容人数については、原則として文部科学省による「新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～新しい生活様式～」に定める身体的距離(最低 1メートル) に倣って設定していますが、本学の場合、最大で定期試験時の収容人数(通常時収容人数の約 7 割)に準ずることにしています。いずれの場合においても、扉及び窓を常時開放して換気に努めますが、授業中・実験中は、学生の皆さんもマスクを必ず着用し、感染予防に努めてください。

## 5. そのほか

- 本注意事項は、必要に応じて更新し、その際には、ポータルサイト等でお知らせします。

以上